

科目名	実習・演習2（ラジオスタッフ専攻）②							年度	2024
英語科目名	Training and exercises 2							学期	後期
学科・学年	音響芸術科 ラジオスタッフ専攻 1年次	必／選	必	時間数	180	単位数	6	種別※	実習
担当教員	飯村聖美	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ラジオディレクター		
【科目の目的】 スタジオシステムを理解し、作品づくりに向けた基本操作を習得した上で、よりクリエイティブな番組制作を心がける									
【科目の概要】 ラジオ番組の基本的な企画制作・技術のスキル習得に加えて、よりクリエイティブな発想の番組を企画制作する 実験的な番組企画やオリジナルCMをはじめとするビジネスを意識したコンテンツを作る									
【到達目標】 A. 基本的な番組制作ができる B. ビジネスに結びつくコンテンツの制作ができる C. クリエイティブな発想を具現化した番組制作ができる									
【授業の注意点】 各自で実習専用のメモ帳、筆記用具、ヘッドフォン、記録メディアを用意すること。この講義は実習と演習が連動した科目である。項目によっては班ごとに順番を入れ替えることもある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	企画構成、台本、サウンドステッカーの作成、録音、プロ用音源再生機の扱い、ディレクションができる	企画構成、台本、サウンドステッカーの作成、録音、プロ用音源再生機の扱いができる	企画構成、サウンドステッカーの作成、録音、プロ用音源再生機の扱いができる	スタジオの機材が扱えるが企画ができない	スタジオの機材が扱えず企画ができない				
到達目標 B	チームをリードしながらクライアントが求めるもので且つリスナーに魅力的なコンテンツを制作できる	クライアントが求めるもので且つリスナーに魅力的なコンテンツの制作ができる	クライアントが求めるコンテンツの制作ができる	クライアントの視点でアイデアを出すことができるが具現化できない	クライアントが何を求めているか理解できない				
到達目標 C	クリエイティブな発想の企画概要と意図をチームに理解浸透させオリジナリティ溢れる番組の制作ができる	クリエイティブな発想の企画をチームに理解させ、番組の制作ができる	クリエイティブな発想の企画に基づいた番組の制作ができる	番組企画のアイデアはあるが具現化できない	番組企画のアイデアをみつけられない				
【教科書】 適宜プリント配布									
【参考資料】 講師制作番組ほか									
【成績の評価方法・評価基準】 ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主にグレード試験と提出物で行う。また補足的にレポート評価を行う場合もある。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		実習・演習 2			年度	2024
英語表記		Training and exercises 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ポータブル録音機を使用した外録	個々の聴覚を最大限に活用し、音の文脈をとらえる	1 番組視聴と解説	番組やコンテンツにおける音の効果を理解する	3	
			2 外録の説明と実践	サンプリングレートを理解し一人で外録ができる		
			3 オンライン搬入	外部メディアへのデータ移動とオンライン搬入ができる		
2	音に焦点を当てた番組の企画	ラジオ番組を企画する際の発想の視点のみつける	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 既存番組企画の解説	試聴した番組のカテゴリーと企画構成を理解する		
			3 実際に企画する	個々に企画を考える		
3	簡易企画書の作成とプレゼンテーション	リスナーターゲットを明確にした企画を考える	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 簡易企画書の作成	自身の発想やアイデアをテキスト化する		
			3 企画発表	プレゼンテーションに慣れる		
4	オリジナルラジオCMの企画	ビジネス展開を意識したラジオCMの企画	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 ラジオCM視聴と解説	各ラジオCMの意図を理解する		
			3 ラジオCM簡易企画書と台本作成	ラジオCMの簡易企画書と台本の作成		
5	オリジナルラジオCMの制作	ほぼ全ての音源をオリジナルとし、ラジオCMの完全パッケージを制作	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 効果音、ナレーション収録	演出を考えながら収録ができる		
			3 Audition解説と編集	Auditionを使った編集と完バケができる		
6	音に焦点を当てた番組企画の展開	企画の展開を考察	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 企画会議	既存の企画の展開を考えられる		
			3 番組構成を考える	演出を考慮した番組構成を考えられる		
7	音に焦点を当てた番組の制作	自由な発想から番組として具現化するアプローチを探る	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 素材作り	選曲、台本の作成、音源の編集など素材作り		
			3 本番	演出に配慮し計画されたタイムに沿って番組を遂行		
8	コーナー企画の発案	ワイド番組の一コーナーを想定して企画を考える	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 企画提案	実験的なコーナー企画を考える		
			3 プレーンストーミング	具体的な演出方法のプレーンストーミング		
9	コーナー企画制作準備	コーナー企画の素材を作る	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 素材作り	Auditionを使って番組の演出に準じた音源素材を作る		
			3 台本作成と選曲	番組企画に追従した台本を作り、選曲をする		
10	コーナー企画実践	生放送形態でコーナー企画を実践	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 打合せ	本番前の素材と番組内容のチェック		
			3 本番	企画と演出に配慮し計画されたタイムに沿って番組を遂行		
11	「1分のラジオドラマ」を企画	楽曲の世界観をイメージしたショートドラマを企画	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 選曲	ショートドラマを想定した選曲会議での提案		
			3 物語の設定を考える	物語の設定をプレーンストーミング		
12	「1分のラジオドラマ」の構成	台本や素材を作成	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 台本作成	各自脚本を作成		
			3 効果音収録	ドラマに合った効果音を準備		
13	「1分のラジオドラマ」の収録準備	ゲスト収録のシミュレーション	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 ナレーション収録	ナレーション収録のシミュレーション		
			3 本番収録の準備	控室、ケータリングの準備から出演者の案内まで担当を決めて準備		
14	「1分のラジオドラマ」のナレーションと効果音収録	スタジオでナレーションと効果音を収録	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 ナレーション収録	プロの声優または俳優でナレーション収録		
15	「1分のラジオドラマ」編集・完バケ	一人一作品のショートドラマを作り上げる	1 編集	Auditionを使用した編集	3	
			2 完バケ	Auditionを使用し完全パッケージを制作		
			3 試聴会	試聴会にて自他の作品の批評		

評価方法：1. 課題提出、2. パフォーマンス評価、3. 小テスト その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等